中高生礼拝4月①

「神様と共に生きる成和学生」

皆さん、こんにちは。

きょうは、「神様と共に生きる成和学生」という題目で、説教をします。

はじめに、聖書を拝読します。

**わたしはあなたと共にいて、あなたがどこへ行くにもあなたを守り、あなたをこの地に連れ帰るであろう。わたしは決してあなたを捨てず、あなたに語った事を行うであろう。**

**（『旧約聖書』創世記28章15節）**

成和学生とは

　春を迎えて、進級進学の季節ですね。新しく中学生になった人、高校生になった人もいると思いますし、それぞれ学年が一つ上がり、新しい環境になった人も多いと思います。皆さん、進級、進学、おめでとうございます！

　今回の礼拝では、「神様と共に生きる成和学生」と題して、神様と共に生きる中高生として、どのようなことを意識して生きていくべきか、ということについてお話しします。

　神様、真の父母様と共に歩んでいく中高生のことを、私たちは「成和学生」と呼び合いながら共に歩んでいます。

　「成和」という言葉は、真のお父様が名付けてくださった言葉です。お父様は「成和」について次のように語っていらっしゃいます。

**皆さんは成和という言葉の意味を知っていますか？ 成和という名前をなぜ若者たちにつけてあげたのでしょうか？ 皆さんの中で年とった人と一つになることが好きな人、手を挙げてみなさい。お年寄りには悪いですが、年寄りどうし一つになってもよいですか？ また、おばさんどうし一つになったらどうなりますか？ 愚痴ばかりこぼすようになるのです。違いますか？ それでは全くだめなのです。それゆえ、血の沸き立つ若者、純潔の血が沸き上がり、神様の感情に同化できる血を持った若い青少年たちが必要なのです。だから若者たちに成和という名をつけてあげたのです。……（中略）……**

**成和の意味は何かというと、成して和合するということです。一つの目的を成して和合するということです。和合することによって、二人ではなく一人になります。……一つの家庭に年とったおじいさん・おばあさん、あるいはお父さん・お母さんがいますが、いつも子供たちの笑いが絶えないようであってこそ、その家庭に笑いの花が咲くのと同じです。そのような意味で成和の若者たちの持つ責任が大きいことを、皆さんは知らなければなりません。**

**（『二世の道』p.153～154）**

　真の父母様が、若者が神様の心情と一つになって情熱を燃やし、一つになることを願われて「成和」という言葉を名付けてくださったことが分かりますね。

　「成和学生」は、そのような誇りを持った言葉であり、存在です。ぜひ「自分は成和学生なんだ」という自覚と誇りを持って毎日を生活していきましょう。

礼拝を守ろう

　成和学生として大切なことの一つは、「礼拝を守ること」です。

　毎週日曜日には礼拝に参加し、神様と共にある自分を振り返り、新しい一週間を出発していきましょう。

　お父様のみ言を紹介します。

**「私は、誰々のために教会に行く」と言ってはいけません。「私は、私の愛する息子、娘のために教会に行く」、「愛する夫のために教会に行く」、「愛する妻のために教会に行く」という人たちは、越えていくことができません。誰のために行くのかと言えば、神様のために行くのです。神様を「私」のものとして所有するために、神様の愛を私の愛として探し出すために、教会に行くのです。**

**（天一国経典『天聖経』p.1182）**

　礼拝に行く目的は、神様に「私」を捧げに行くことです。「説教を聞く」、「献金を捧げる」ということもありますが、それ自体が目的ではなく、神様のために一週間の最初の時間を捧げることが大切です。

　分かりやすく言えば、「礼拝は神様との待ち合わせ」です。毎週日曜日の午前10時から礼拝があるとすれば、それが神様との待ち合わせの約束時間であり場所だということです。毎週のその時間、神様が教会で「私」のことを待っているのです。

　皆さんは、大切な家族や友達との待ち合わせの約束があったら、どうしますか？ 決してすっぽかしたりはしないでしょう。むしろ、約束の時間よりも早く着いて、その相手を待つことでしょう。

　ぜひ礼拝を大切にして、あなたのことを待っている神様と、しっかり大切な時間を過ごしてください。

良心生活をしよう

　次に、良心生活を心がけていきましょう。良心の声を聞く生活です。

　神様は常に、皆さんの心の中にある良心を通して語りかけてこられます。「親の手伝いをしよう」「勉強をがんばろう」「困っている人を助けよう」「ゴミが落ちていたら拾おう」といった思いは、良心を通して私に語りかけておられる神様の声です。

　良心について、真のお父様は次のように教えていらっしゃいます。

**良心を絶対視するような宣言をしなければならないのです。あなたたちは良心をたくさん泣かせてきましたね。良心は、「自分は、どんな難しいことがあっても心身一体化して、神様の相対の理想の価値あるものになって、神様を喜ばせるためにつくられた」ということを知っているのです。それで良心は、一瞬も休まず君たちを戒めてきたのに、それに服従せず、一体にならなくて、めちゃくちゃな自分として現在の位置にとどまっているということをはっきりと知らなければならないのです。良心を尊重して、絶対視する運動をしないといけません。**

**（『男性訪韓修練会御言集』p.198、「真の自分を探しましょう」1995年1月17～18日　韓国・九里市、中央修練院）**

　神様のことを意識するのは教会でだけではありません。家庭でも、学校でも、そして朝起きた時から夜休むまで、良心の声をよく聞いて、そのとおりに行動する良心生活を心がけていきたいですね。

月刊『SEIWA』と『SEIWA DIARY』を活用しよう

　成和学生の皆さんを助けてくれるグッズがあります！ それが月刊『SEIWA』と『SEIWA DIARY』です。

　月間『SEIWA』は通称『成和会報』と呼ばれている、毎月発行される青年学生のための教育情報誌です。青年学生の取り組みの特集ページや、真の父母様のみ言、全国の兄弟姉妹の様子、先輩の証、原理や聖書の話、クイズとプレゼントなど、成和学生の生活をサポートする内容が満載です。

　そして『SEIWA DIARY』は、青年学生の信仰生活をサポートする手帳です。昨年までは『成和手帳』という名前でしたが、2022年から『SEIWA DIARY』と、名前が変わりました。神様を中心として生活をするための機能が備わっています。主に、毎日簡単な日記を書いて一日を振り返る心情日誌、目標を立てて実践できたかどうかを毎日チェックする生活プログラム、という内容があります。『SEIWA DIARY』を使うと、良心生活を意識できるようになり、神様と共に生きる成和学生になっていくことができます。

兄弟姉妹を大切にしよう

　そして、最後にお伝えしたいのが、兄弟姉妹を大切にしよう、ということです。

　成和学生は、神様を親とする兄弟姉妹です。学校では、まだ神様、真の父母様を知らない人たちの中での環境で生活することと思います。そんな中でも成和学生の誇りを持って歩んでいくことが大切ですが、教会では、神様、真の父母様を知り、共に生活しようと志している仲間たちがいます。その存在は、友達以上の友達であり、兄弟姉妹であり、家族です。

　中学生には高校生のお兄さん・お姉さんがいて、高校生には大学生や社会人のお兄さん・お姉さんがいます。そして、教会の食口皆が、皆さんの家族です。

　皆さんは一人ではありません。ぜひ年上のお兄さん・お姉さんを頼りにしてしっかりと愛されて、年下の弟妹たちを愛し面倒を見る、そんな家族の一員になっていきましょう。

成和学生の証

　最後に、成和学生として頑張っている、ある成和学生の証を紹介します。中学3年生の男子の証しです。

**重点的に取り組んだのが成和手帳でした。その中で大切にしていたことは、自分の心情を整理することはもちろん、楽しみながら成和手帳を記入することです。全国の、成和手帳を工夫して記入している、成和学生の手帳を参考にして、自分が記入していて楽しいと思えるような工夫を行いました。**

**学校の生徒会活動にも取り組みました。2年連続、生徒会役員として、学校がより良くなるように主体的に活動していきました。生徒会選挙に関する校則を改正したり、文化祭がより楽しくなるように、自分の時間を犠牲にして取り組んだりして、学校をより良くすることができたと思います。**

**また、小さな頃から強かった「知りたい」という気持ちを勉強に向けて、熱心に勉強に取り組み、中学生ではいつも上位をキープしていました。中学3年最後の定期テストでは、学年1位を取ることができました。**

**私が大切だと思うことは、神様のためになり、自分にとってもプラスになる目標を立てるということです。そうすることで、自分が本当にやりたいと思っていることを見失わず、最後までやり遂げることができると思います。**

**（Japan TOP GUN Assembly 2022におけるTOP GUN JUNIOR認定者の証より、一部抜粋編集）**

　成和学生として、礼拝を大切に、良心の声を聞いて、『SEIWA』と『SEIWA DIARY』を活用し、兄弟姉妹と分かち合いながら、共に頑張っていきましょう。

　きょうは、「神様と共に生きる成和学生」という題目で、お話ししました。

　以上で説教を終わります。ありがとうございました。